

参考資料 - 2

「心理 or 生理」での検索結果

分野	受理 No	将来の課題と予測される研究テーマ
B	6	歯科治療時に発生する不快音 (切削音、吸引音) に対する患者の心理的生理的影響
D	6	歯科治療時に発生する不快音に対する環境音楽の心理的影響
B	12	騒音対策の心理的効果の把握 (植樹帯等)
C	19	聴覚の生理モデルと計算論
B	23	心理に害する環境音
D	25	音楽の心理療法への応用
D	27	(音楽生理) ストレス
D	27	(音楽生理) 癌免疫
D	28	脳波、脈波による音楽の生体に及ぼす心理調査
D	49	(音楽生理) 生体指標 (ホルモンなど、脳波) を用いた調査
D	55	CD と生演奏による生理学的反応の違い
D	55	音楽が及ぼす生理学的反応 CT, MRI 上の変化、生理的反応を引き起こす音楽の周波数解析
D	63	(音楽生理) ハイパーソニック等可聴範囲外の音響成分が生体にもたらす効用の生理学的調査
D	63	サウンド・音楽が人間の生理的・精神的安定に対して働きかける要素の抽出, また, その応用
D	66	音楽が聴覚細胞以外の細胞を經由して生体に及ぼす心理的作用
D	66	音楽が聴覚細胞以外の細胞を經由して生体に及ぼす生理的作用
C	67	音周波数知覚や音源定位等に関する聴覚系中枢の生理
C	70	種々の音と人間の生理・心理との関係
D	70	音の種類と"快"・"不快"との生理的關係
	13人	

「障害」での検索結果

分野	受理 No	将来の課題と予測される研究テーマ
A	6	術前音声記録から作成される人工合成音声作成技術の開発 (術後発声障害患者への応用)
C	6	顔面表情あるいは表情筋活動からの音声解読システムの開発 (気管切開患者や発声障害患者への応用)
C	14	音響障害のメカニズム
C	14	虚血性内耳障害のメカニズム
C	21	加齢によるコミュニケーション障害の改善
C	28	4000Hz 以上の音の聴覚障害に関する研究
C	45	言語障害を持つ人の発音・音声分析
A	47	障害者のための音声合成技術の応用
A	47	障害者のための音声認識技術の応用
F	49	(超音波) 視覚障害者への応用
C	51	中枢性の聴覚・言語障害の治療と脳の可塑性
C	51	痙攣性発声障害の成因と治療
D	58	発達障害児や痴呆者に及ぼす音楽の効果
F	64	携帯/着装型の超音波式測距計測認識システム (障害者/高齢者用により軽量可搬性の高い機器)
E	67	視覚障害あるいは視覚機能が使えなくなった環境での音源位置の定位問題
	11名	

「脳」での検索結果

分野	受理 No	将来の課題と予測される研究テーマ
A	5	人間の脳における音声分析機構の解明
A	5	人間の脳における音声認識機構の解明
C	5	聞こえると言うことは脳で何が起きているのか
C	5	心内発声と脳活動, 脳の活動と意識の上での聴えると言うこととの関連
C	10	人間の脳と音に対する快感・不快感のかかわり
C	14	人工内耳関連 ・ハードの開発のための研究 ・言葉の理解に対する脳の可塑性の研究
C	21	脳直結型人工聴覚
C	25	乳幼児の言語発達における大脳レベルの機構解明
D	28	脳波、脈波による音楽の生体に及ぼす心理調査
C	38	聴覚 - 大脳機能
A	43	脳機能を模した音声圧縮アルゴリズム
D	49	(音楽生理) 生体指標 (ホルモンなど、脳波) を用いた調査
C	51	中枢性の聴覚・言語障害の治療と脳の可塑性
C	51	無侵襲脳機能計測による人の聴覚反応
C	51	発声制御の脳機構
D	51	音楽聴取・認知の脳内機構
C	62	(生体聴覚) 脳機能の解明
A	65	音声情報の脳内表現
A	65	音声知覚の脳内機序
D	65	音楽情報はいかにして脳内に表現されているのか？
F	65	超音波顕微鏡を使った細胞の研究、発生学への応用、脳神経科学への応用
A	67	脳性マヒ等で音声不明瞭である場合の、音声解読とその自操作機器への応用
D	71	音楽の生体への影響 脳に及ぼす影響
	14名	

「動物 or 植物」での検索結果

分野	受理 No	将来の課題と予測される研究テーマ
A	5	動物の音声におけるコミュニケーション技術, 動物との音声によるコミュニケーション技術
B	10	騒音による動物への影響
C	10	動物の発生音と他個体への伝達
F	10	超音波と動物
C	21	植物に対する音刺激の効果
G	21	祭り・民芸、仕事の音、動物の鳴き声、自然音など、地球上の音のデータベースの作成。日本の世界貢献になるのでは？
A	34	動植物コミュニケーション
B	54	人体や動物に及ぼす低周波音の影響
A	70	動物の鳴き声とその意味
	6名	